



古高だより

令和4年度 第2号 令和4年9月 日発行
宮城県古川高等学校 <https://furuko.myswan.ed.jp/>

コロナ禍以前に近づいた

今年度の古高祭のテーマは「古高祭 JP～皆が英雄編～」でした。このテーマの下、まさしく皆が英雄となったことで、コロナ禍でありながらコロナ禍以前の古高らしい古高祭に限りなく近づくことができました。準備期間から古高祭最終日まで、トラブルも多々ありましたが、最高の古高祭を創り上げることを諦めず、たくさんの困難にも挫けずに各々ができる最大限を發揮してくれた実行委員、先生方、各企画の主力となってくれた古高生、全力で楽しんで全力で古高祭を盛り上げてくださった皆さん、本当にありがとうございました。古高祭を形作ってくださった全ての方々が私にとってのヒーローでした。感謝の気持ちでいっぱいです。1・2年生にはこのたくさんの英雄たちが繋いだ古川高校の古高祭を来年、再来年とより磨きをかけ、最高の古高祭の思い出を更新してほしいです。古高祭の更なる発展と進化を願っています。



古高祭実行委員長 3年2組 萩野 結衣 (築館中学校出身)



オープンスクール開催

7月29日(金)に「オープンスクール」を実施しました。県下40校(近隣だけでなく遠くは仙南、県北からの参加も)から総数523名の参加申込があり、多くの中学生が期待と希望のあふれる表情で来校しました。全体会と小グループに分かれての懇談会という二部構成で、全体会では卒業生で、現在は東北大学医学部保健学科で学んでいる富永理心(りこ)さん(吹奏楽部 古川南中学校出身)による講話や生徒会長により学校紹介などが行われました。懇談会ではボランティアの在校生が運営し、プレゼンテーションソフトを活用しての学校紹介や勉強法のアドバイスなど、各グループで趣向を凝らして説明しました。暑い中での実施でしたが、参加した中学生は最後まで真剣なまなざしで、それぞれの説明に聞き入っていました。実施後のアンケートでは、参加した中学生のほとんどが「満足した」を回答してくれました。

部活動躍進!

～全国総文祭 文芸部門 詩部門～

文芸部

今回、第四十六回全国高等学校総合文化祭「とうきょう総文2022」に参加させていただいたことは私がこれまで歩んできた十七年間の中で最も貴重な体験だったと感じています。今大会で私は、他県の非常に実力のある生徒さんとの交流や、文芸のプロとも言える大変有名な講師の先生方のお話を通して、今まで考えることもなかった事象の新たな知識を得ると共に、人間の文化の結晶である「文芸」というものの深淵を覗くことができたと感じています。

そんな実り多い大会の中で、私が最も印象に残った事柄は、部門別交流会の詩部門で講師を務めていただいた高柳誠先生の言った一言、「小説とは言葉の歩行であり、詩は言葉の舞踏である。日常の小さな困りに爆弾を仕掛けて世界を広げることで詩は作られる」という内容のものです。私はこれまで、詩とは自分の思ったことを自分なりに書くことができればそれでいいのだ、と思っていました。だからこそ、言葉を繋げて終着点につなげるのではなく、世界を「広げて」、言葉が「舞踏」する空間を作る、それが詩を作るということなのだと思った時、私の胸には衝撃が走りました。同時に、この「言葉」の持つ重みを大事に抱えていくことこそが「文芸」というものの核となっているのだと、気が付くことができました。

今を生きる私は、まだまだ未熟な一人の高校生です。しかし、今回の経験はいつかの未来の私がどこかへ踏み出す支えになるという確信があります。これからも、今の自分が持つ「言葉」の力を精一杯抱えて、未来の自分の背中を押せるように先進していきたいと思っています。



3年5組 柴田 穰 (佐沼中学校出身)

～東北選手権大会出場～

ソフトボール部

私たちは、県総体の決勝で敗れ、県2位での東北大会出場だったため、3年生にとっては勝っても負けても最後の大会でした。1回戦から強豪の郡山北工さんと対戦し、6対0で敗れる形となりましたが、好プレーも随所にみられました。私たちがやってきたことは全て出すことができたと思います。常にコロナと付き合い、困難の多い部活生活でしたが、そんな時だからこそ、気づきや学びの多い濃い時間でした。応援ありがとうございました。

3年3組 岩谷 拓 (岩山山中学校出身)



剣道部 優勝旗 古川の関渡れず……

私たち剣道部は6月25日に行われた「東北高等学校剣道選手権大会」に出場しました。初戦の平工業高校戦では、全員がベストを尽くしましたが、僅差で敗れてしまいました。2試合目の山形南高校戦では、大差をつけて勝つことができました。ここまでの結果を残すことができたのも、私たちの「濃く密な青春」のためにサポートしてくださったヒロブミ先生をはじめとする多くの方々のおかげです。これからも剣道部では、古川の関越えを目指し稽古に取り組んでいきたいと思っています。

(顧問注：古川に関があったかどうかは定かでない)

3年6組 佐々木 蓮 (田尻中学校出身)



男子剣道部員 (東北大会にて)

～東北大会出場～

陸上競技部



私たち陸上部は、400m、砲丸投げ、ハンマー投げ、リレー2種目で宮城県代表として東北大会に参加した。個人種目では、東北大会という大舞台に緊張しながらも、アップなどをしっかり行い、万全な状態で試合に臨めた。自己



ベストを出せた人もいて、とても良い経験となった。リレーでは、自分たちが出せる力を最大限に出すことができ、仲間と最高の思い出を作ることができた。後輩たちには、この大会での経験を今後に生かしてほしい。

3年3組 酒井 晴仁 (古川東中学校出身)



～東北総体(ミニ国体)出場～

剣道部

私は8月20日に青森県三沢市で開催された「ミニ国体」に、宮城県選抜チームの次鋒として出場しました。今大会は、私にとって全国大会の出場権と引退を賭けた最後の大会でした。今までは倒すべき敵として戦ってきた選手たちと同じ宮城県の代表チームで戦えたことが、私にとって貴重な経験となりました。結果は、少年男子の部で6県中4位、個人としては1勝1敗3引き分けとなり、本国体への出場は叶いませんでした。1試合目は自分が1勝し、チームの勝利に貢献することができましたが、そのあとの試合では、自分の思うような試合ができず、悔しい結果となりました。

今回のミニ国体や、夏季休業中の群馬・京都への遠征では、本当に数多くの強い選手と試合することができ、私にとって大切な財産となりました。この貴重な経験を糧に、今後も剣道をしていきたいと思っています。

3年5組 熊谷 颯太 (古川東中学校出身)

～夏季写真撮影大会～

写真部

8月8日～10日まで開催していた「第19回夏季写真撮影大会」で入選することができました。私はこの大会を通して人を被写体としたときの注意点や写真のセレクト等多くの事を学びました。その学んだことを活かした結果の入選なのではないかと思いました。写真部に入部して3年目、初の入選なのでとてもうれしいです。今後も写真の技術向上に励んでいきたいと思っています。

3年3組 柳川 倫志 (小野田中学校出身)



入選作品